

平成29年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「イルビッド・パレスチナ難民キャンプ内診療所医療機材整備計画」
医療機材供与式典

2019年7月17日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「イルビッド・パレスチナ難民キャンプ内診療所医療機材整備計画」のための医療機材供与式典が実施されました。

本計画は、1991年にヨルダンの首都アンマンから約90km北に位置するイルビッド・パレスチナ難民キャンプ内に診療所を開設して以来、長年にわたり、パレスチナ難民をはじめ、国籍を問わず脆弱な人々に対して医療サービスを低額で提供してきた実績のあるNGO「ファルーク孤児支援協会」に、4D超音波検診機器及び骨密度測定装置を配備することにより、胎児の障がいの診断を含む高度で正確な妊産婦検診及び骨粗しょう症の早期発見が可能となり、医療サービスの質の向上に寄与することを目的としています。

同式典では、多田公使参事官よりフセイン・ファエズ会長へ4D超音波検診機器及び骨密度測定装置を供与し、出席者からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

多田公使参事官の挨拶



骨密度測定装置の供与
(多田公使参事官からファエズ会長へ)



4D超音波検査機器の供与
(多田公使参事官からファエズ会長へ)



被供与団体との会談

